

公明党 横浜市会ニュース 第74号

民衆の声
ボイス

VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com



整備中の星川雨水調整池(保土ヶ谷区)を視察

公明党横浜市議員団は市民を守る防災減災対策の推進に全力を注いで参りました。いざという時にも利用できる道路の整備、路面下空洞調査、防災拠点や防災備蓄庫の整備、市立小学校の子ども用ヘルメットの配備など市民目線で具体的な対策を進めてきました。

横浜の防災減災対策推進!

道建設事務所を訪問し、内水はん濫を含む「浸水ハザードマップ」の活用状況を確認し、その後、星川雨水調整池の整備状況を視察。

集中豪雨で下水道や水路などがあふれる「内水はん濫」による浸水区域などを示す「内水ハザードマップ」の作成は、平成22年に公明党市議員団が提案したものです。50cm以上の浸水が予測される地域に配布され、その他の地域は区役所等で希望者に配布されています。

これからも災害に強い、安全・安心の街づくりを推進して参ります。

ハザードマップ 活用法

ハザードマップ



第23回五大市政策研究会の様子

第23回五大市政策研究会の開催

五政令指定都市（横浜、名古屋、京都、大阪、神戸）による「五大市政策研究会」が横浜市内で開催されました。

今回は、国で公明党がリードして法制化された「生活困窮者自立支援の取り組み」、また「大都市制度への取り組み」について研究テーマとし、各都市の実例報告、意見交換が行われました。

今回の研究会を経て、放課後児童対策における低所得世帯、多子世帯等への利用減免制度の創設などを国へ要望する予定です。

市報 小さな声を聴く力、声をカタチに!



かのう 重雄

瀬谷区三ツ境 125-25 ☎365-2054 FAX.365-1690
かのう重雄 検察

審査などの条件を整えば、夜間中学の入学が可能となります。

「ダブルケア」の支援策を探る

横浜市は、育児と親の介護を同時にしなければならない世帯「ダブルケア」の支援策を探るための研究会を横浜国立大学などの専門機関と発足させ、今年度中に政策提言をまとめます。

この政策提言を踏まえ、「ダブルケア」で悩んでいる多くのご家庭の負担軽減を今後、進めて参ります。

夜間中学で既卒者の受け入れ

中学校卒業生であっても、不登校や虐待等で授業の大部分を欠席し実質的に義務教育を受けられなかった人や、書面上では十分な出席日数があっても、保健室登校などで授業を受けなかった人も、本人の希望と



「バリアフリー化を推進

三ツ境駅周辺地区は加納市議の提案で、本市郊外区で初の「横浜市バリアフリー基本構想」に指定、バリアフリー化を推進する地域として、整備を進めてきました。

最近、「暗くなる」と階段の段差が良く見えなくて危険だ!との相談を頂いており、関係部署と協議。9月29日には、オレンジ色で段差が見やすいように施工されました。

今後は、他の箇所についても検討して参ります。

境川の河道を変え 浸水対策を強化

瀬谷区と大和市の境を流れる二級河川である境川の浸水被害を防止するために、境川と相模鉄道本線とが交差している付近で、大きく蛇行している箇所の川の流れを変え



河道付け替え案

る(河道付け替え) 工事計画が検討されています。

境川の浸水対策については、河川・流域・下水道も含めた総合的な浸水被害対策を進める「特定都市河川及び流域」に指定すべきであると平成19年3月の市予算委員会での加納市議の提案が、昨年実現しました。

今回の河道付け替え工事計画は、「流域水害対策」計画とともに、境川の浸水被害を大きく軽減していくものと期待されます。

今後、境川を所管している神奈川県などとも工事スケジュールなどの詳細を調整しながら、地域の皆様の声も聞きながら進めて行くこととなります。(左図参照)

市民相談 お気軽に何でもご相談下さい

横浜市議員(瀬谷区選出) **かのう重雄**

電話: 045-365-2054 FAX: 045-365-1690
住所: 瀬谷区三ツ境 125-25 E-mail: info@s-kano.jp
【発行/横浜市会公明党 政務調査会瀬谷事務所】

平成28年中の条例制定へ、大きく前進!! 人に寄り添う姿勢で「ごみ屋敷問題」の解決へ

●市民相談●
様々な要因により適切な管理が行われていない「ごみ屋敷」が全国的な課題となっており、これまでも、この問題についての相談が数多く寄せられています。
これにより悪臭やねずみ・害虫の発生といった衛生面だけでなく、防災・防犯面からの懸念も高まっています。
財産権を含め、現行の法令、規則での対応には限界があり、長年にわたって解決が進まない状況が明らかになっています。

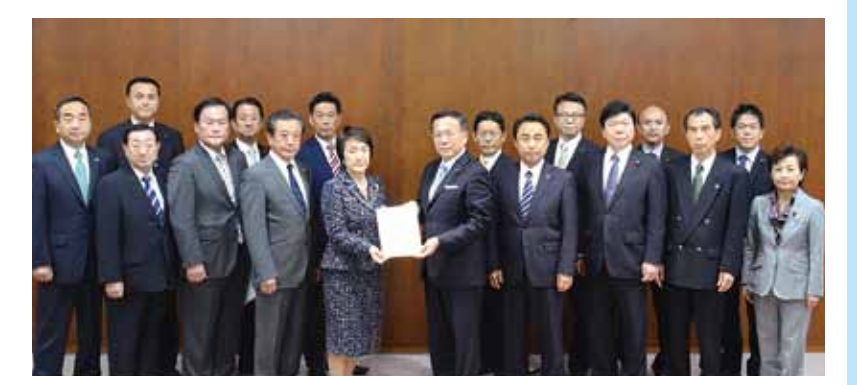
●調査・研究●
公明党市議団は現地調査を行うとともに、既に「ごみ屋敷対策に関する条例」を制定・運用している東京都足立区や京都市、大阪市への視察と聞き取りを実施しました。

●政策提案●
「ごみ屋敷」問題の解決には、条例制定による積極的な取り組みが必要であると判断し、平成27年9月4日に林市長に対して「安心の住環境の整備促進に関する要望書」を緊急提出し、その後の本会議における一般質問(同年9月11日)等での問題を指摘しました。

●課題解決へ●
林市長からは、家族などの調査や敷地内への立入りが必要であることや、様々な事情に寄り添い、解決の必要があることから、早急に区局が連携し、新たな仕組みを条例化も含め検討していくとの答弁があり、28年中の条例制定の方向性が示されました。



平成28年度「横浜市予算要望書」を林文子市長に提出



公明党市議団は10月21日、平成28年度予算編成に対する要望書を林文子市長に提出しました。
要望書は、最重点要望56件、重点要望237件、各区重点要望77件の計370件で構成されています。
項目としては、〈防災・減災・危機管理〉〈行財政運営〉〈文化・芸術〉〈子育て・青少年〉〈教育〉〈障がい者福祉〉〈高齢者福祉〉〈環境〉〈都市基盤整備〉に分類し、市政全般にわたる要望をまとめました。

水道交通委員会でベトナムを視察

ベトナム国フエ市のフエ水道公社を訪れました。国際協力機構(ジャICA)との連携を進めてきた横浜市水道局の技術協力やビジネス協力、人材育成などの実態と効果、課題について、また、ホーチミン市、ハノイ市の鉄道事業における日本の貢献の実態やソフト分野における本市交通局の貢献の可能性などについて視察しました。



視察に参加した源波委員(右から2人目)

平成26年度決算特別委員会の論戦から

都市整備局 「駅ホームドアの整備を」



尾崎 太(鶴見区選出)
高齢者や障がい者の方も安心して駅を利用できるようにするため、ホームドアの整備を促進すべしと訴えました。
都市整備局長は「予算を確保し、横浜市内鉄道駅への設置を促進していく」と答弁しました。



医療局・病院経営本部 「精神疾患の方の救急医療体制の充実を推進」



安西 英俊(港南区選出)
精神疾患を合併する身体救急の医療体制の充実について質問しました。
医療局長は、「一般の救急医療機関が広く受け入れられるような仕組みを構築する」と答弁しました。

健康福祉局 「障がい者利用自家用車への燃料費助成を推進」

障がい者に対する自家用車への燃料費助成を導入すべきと訴えました。
健康福祉局長は、「課題を踏まえながら、慎重に検討していく」と答弁しました。

こども青少年局 「放課後キッズクラブにおける人材育成推進」



行田 朝仁(青葉区選出)
子ども達のために、新たな「放課後児童支援員」制度を活かしたさらなる運営人材の育成について質問しました。
こども青少年局長は、「放課後キッズクラブなどの職員の「質の向上」のため、今後とも、人材の育成に積極的に取り組む」と答弁しました。

地域療育センターの学齢児支援推進

小学校入学後に個別的な支援が必要となった学齢児童に対しても、より丁寧な支援を行うことについて質問しました。
こども青少年局長は、「お子様とご家族に寄り添い、障がい特性を踏まえたきめ細やかな支援をしていく」と答弁しました。

教育委員会 「中学校夜間学級の対象者拡大推進」



中島 光徳(戸塚区選出)
義務教育修了者の夜間学級への受け入れについて質問しました。
教育長は、「来年度に向けて、準備をしていく」と答弁しました。

国際局 「国際会議での本市技術PRの強化に向けての国際局の役割」

国際会議等で本市各局の技術PRに向けての国際局の支援拡大について質問しました。
国際局長は、「各局の発信を積極的にサポートしていく」と答弁しました。

資源循環局 「「出し出し」支援の更なる周知へ」



竹野内 猛(金沢区選出)
公明党の事業提案で始まった、「出し出し」の「持ち出し収集」。
更なる高齢化の進展を見据え、周知方法の充実について質問しました。
循環資源局長は、「「ふれあい収集」を利用されている方の約8割が、要介護・要支援認定を受けているため「粗大ごみの持ち出し収集」の対象者にも該当している。このため、介護保険サービスを受けている方に、2つのごみ出し支援事業があることを知っていただけるよう、今後、地域包括支援センターやケアマネジャーへの周知に、一層力を入れていく」と答弁しました。

港湾局 「水陸両用バスの社会実験」



和田 卓生(旭区選出)
横浜港の新たな観光として、日メモリアルパークから進水し、赤レンガ倉庫周辺を巡る水陸両用バスの運行開始時期について質問しました。
港湾局長は「来年3月に開始」と答弁しました。



イメージ写真